



## 2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年7月14日

上場会社名 株式会社関通  
コード番号 9326 URL <https://www.kantsu.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 達城 久裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部担当 (氏名) 片山 忠司

TEL 06-4308-8901

四半期報告書提出予定日 2020年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	2,179		43		32		23	
2020年2月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	8.35	7.87
2020年2月期第1四半期		

(注) 当社は、2020年2月期第1四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、2020年2月期第1四半期の数値及び2021年2月期第1四半期の対前年同四半期比増減率を記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2021年2月期第1四半期	6,714		986		14.7	
2020年2月期	6,420		626		9.8	

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 986百万円 2020年2月期 626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		0.00	0.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年2月期の業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,367		122		103		67		23.35
通期	9,270	27.0	432	48.6	395	54.6	248	45.6	84.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、前第2四半期累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)については、四半期財務諸表を作成していないため、第2四半期(累計)における対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	3,002,500 株	2020年2月期	2,275,000 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	株	2020年2月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	2,788,750 株	2020年2月期1Q	株

当社は、2020年2月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2020年7月14日付で当社ホームページ(<https://www.kantsu.com/ir/>)に掲載の予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため企業の経済活動は大きな制約を受け、また外出自粛要請等により個人消費の急速な減少が続くなど、景気の後退懸念が一層強まりました。

当社とかかわりの深い物流業界におきましては、緊急事態宣言下においても、社会生活を維持する上で必要な施設として位置づけられ、各社は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の予防措置を講じながら物流サービスの提供を継続し、社会生活のインフラとしての役割を果たすことに努めました。

このような環境の下、当社におきましては、従業員の安全を確保しつつ、引続き既存のお客様に対する物流サービスの生産性向上への取組み等の効率化を推進し、新規のお客様獲得にあたっては、お客様の在宅勤務が広がる中、リモートでの商談機会の拡大に取組む等、インターネットを通じた効果的なお客様の獲得に努めました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高が2,179,240千円、営業利益は43,688千円、経常利益は株式公開費用4,936千円を営業外費用に計上したことなどにより32,233千円、四半期純利益は23,288千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期損益計算書における営業利益をベースとしております。

(物流サービス事業)

物流サービス事業におきましては、物流現場の一層のIT化推進のためシステム部門を増員する等して強化するとともに、新しい倉庫管理システム及び物流ロボットの導入を進めること等により、EC・通販物流支援サービスを中心に継続した生産性向上のための改善活動に取組み、お客様満足度の向上を推進しました。

また、新規のお客様獲得のための商談につきましては、リモートによる商談機会は順調に得ることができた一方で、お客様の在宅勤務等が影響し商談期間は長期化の傾向となりましたが、主なサービスであるEC・通販物流支援サービスでは、既存のお客様それぞれの取扱商品等の特性によって当社のサービス取扱数量に増減があったものの、当社全体としては大きな影響を受けることなく、比較的堅調に推移しました。

この結果、物流サービス事業に係る当第1四半期累計期間の売上高は2,154,831千円、セグメント利益は47,293千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業におきましては、外国人技能実習生教育サービスでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、ミャンマーにおける教育施設が営業停止となる等サービス提供ができない状況が続きましたが、その他教育サービスは緊急事態宣言による影響は限定的で、堅調に推移しました。

この結果、その他の事業に係る当第1四半期累計期間の売上高は24,408千円、セグメント損失は3,604千円となりました。

[2021年2月期第1四半期 セグメント別経営成績]

(単位：千円、%)

セグメント区分	売上高			セグメント損益(営業損益)		
	実績	百分比	前年同期増減率	実績	売上高営業利益率	前年同期増減率
サービス区分						
EC・通販物流支援サービス	2,045,201	93.8	—	—	—	—
受注管理業務代行サービス	24,568	1.1	—	—	—	—
ソフトウェア販売・利用サービス	61,820	2.8	—	—	—	—
その他	23,241	1.1	—	—	—	—
物流サービス事業	2,154,831	98.9	—	47,293	2.2	—
その他の事業	24,408	1.1	—	△3,604	—	—
セグメント合計	2,179,240	100.0	—	43,688	2.0	—

(注) 1. 楽天スーパーロジスティクスサービスの売上高は、EC・通販物流支援サービスの売上高に含めて記載しております。

2. 当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同期増減率については記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は6,714,204千円(前事業年度末比293,716千円の増加)、負債は5,727,213千円(前事業年度末比67,178千円の減少)、純資産は986,991千円(前事業年度末比360,894千円の増加)となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は3,701,107千円(前事業年度末比174,222千円の増加)となりました。主な要因は、現金及び預金が公募増資及び第三者割当増資等により153,319千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は3,013,097千円(前事業年度末比119,493千円の増加)となりました。主な要因は、機械及び装置が物流ロボットの一部試験導入により19,723千円、有形固定資産のその他が物流ロボットの導入準備により74,091千円、倉庫管理システムのバージョンアップにより無形固定資産が20,482千円それぞれ増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,615,463千円(前事業年度末比44,467千円の減少)となりました。主な要因は、未払法人税等が法人税等の支払いにより54,674千円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は4,111,750千円(前事業年度末比22,711千円の減少)となりました。主な要因は、長期借入金に約定弁済等により29,287千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の部の残高は986,991千円(前事業年度末比360,894千円の増加)となりました。主な要因は、株式上場にともない実施した公募増資及び第三者割当増資により、資本金が163,978千円、資本剰余金が163,978千円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日付で開示しました「2021年2月期 業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,450,903	2,604,222
売掛金	850,263	849,330
その他	238,056	259,789
貸倒引当金	△12,338	△12,235
流動資産合計	3,526,884	3,701,107
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	589,607	581,766
機械及び装置(純額)	165,482	185,206
土地	1,125,087	1,125,087
その他(純額)	115,885	189,976
有形固定資産合計	1,996,062	2,082,037
無形固定資産	191,584	212,067
投資その他の資産		
投資有価証券	22,894	34,739
敷金及び保証金	468,949	469,209
その他	223,166	218,021
貸倒引当金	△9,053	△2,977
投資その他の資産合計	705,956	718,993
固定資産合計	2,893,604	3,013,097
資産合計	6,420,488	6,714,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	380,115	392,294
1年内返済予定の長期借入金	747,831	766,116
未払法人税等	69,146	14,471
賞与引当金	33,417	47,783
その他	429,420	394,796
流動負債合計	1,659,931	1,615,463
固定負債		
長期借入金	3,923,105	3,893,818
資産除去債務	72,614	80,832
その他	138,742	137,100
固定負債合計	4,134,461	4,111,750
負債合計	5,794,392	5,727,213
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	110,750	274,728
資本剰余金	96,750	260,728
利益剰余金	423,269	446,558
株主資本合計	630,769	982,015
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,673	4,975
評価・換算差額等合計	△4,673	4,975
純資産合計	626,096	986,991
負債純資産合計	6,420,488	6,714,204

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	2,179,240
売上原価	1,961,579
売上総利益	217,661
販売費及び一般管理費	173,972
営業利益	43,688
営業外収益	
受取利息	148
貸倒引当金戻入額	6,075
その他	2,501
営業外収益合計	8,725
営業外費用	
支払利息	11,437
株式公開費用	4,936
その他	3,807
営業外費用合計	20,180
経常利益	32,233
税引前四半期純利益	32,233
法人税等	8,944
四半期純利益	23,288

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2020年3月18日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式600,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ135,240千円増加しております。また、2020年4月20日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式127,500株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ28,738千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期会計期間末における資本金は274,728千円、資本剰余金は260,728千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	物流サービス事業				
売上高					
外部顧客への売上高	2,154,831	24,408	2,179,240	—	2,179,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,154,831	24,408	2,179,240	—	2,179,240
セグメント利益又は損失(△)	47,293	△3,604	43,688	—	43,688

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。